

育児に関する両立支援制度の活用例

1 小学校就学までの期間における例

(1) 子の成長に合わせて勤務する時間を段階的に長くしていく例

	0 歳	1 歳	2 歳	小学校入学
例 1	育児休業		育児短時間勤務	フレックスタイム制

	0 歳	1 歳	2 歳	小学校入学
例 2	育児休業	保育時間 (60分) 育児時間 (60分)	育児時間 (90分)	育児時間 (60分) 育児時間 (30分)

(2) 夫婦間で分担して制度を活用する例

例 1

0 歳		1 歳		3 歳		小学校入学	
				(保育所入所)			
夫	配偶者 出産休暇	育児参加 休暇	育児 休業	勤務	育児短時間勤務	フレックスタイム制	
妻 (民間)	産後休業			育児休業	勤務	フレックスタイム制 (始業時刻変更等)※ 1	

※ 1 育児介護休業法
第23の3条第1項
の規定による選択
的措置義務

夫婦間の交替のタイミングについては、保育所入所又はお互いの職場の定期異動のタイミングに合わせることが考えられる。

例 2

	0 歳	1 歳	3 歳	小学校入学
		(保育所入所)		
夫 (民間)	育児休業	勤務	短時間勤務※ 2	時差出勤 (始業時刻変更等)※ 1
			※ 2 育児介護休業法 第 23 条 第 1 項によ る措置義務	
妻	産後休暇	育児休業	勤務	早出遅出勤務

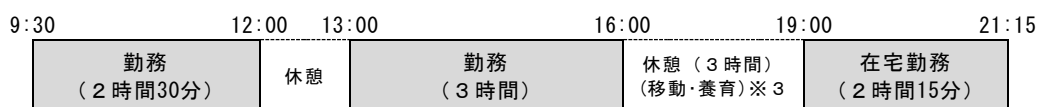
(3) 夫婦ともにフレックスタイム制を活用する場合の例



(4) 夫婦ともに早出遅出勤務をする場合の例



2 在宅勤務を活用する例



※3 休憩時間の延長が可能（延長された休憩時間の直前又は直後に在宅勤務等を行うことが必要）